

# 「ヒバクシャ国際署名」 ゴールの9月へ、目標の50万筆へカウントアップ



長崎被災協会館の2階窓にも



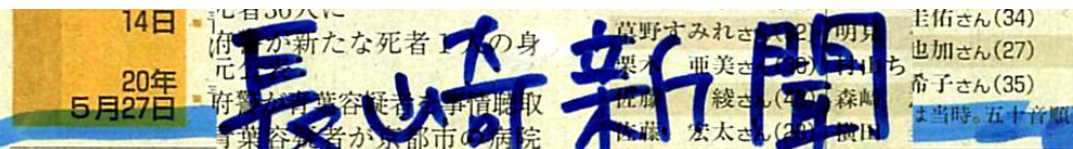
長崎自治労連の窓に掲示された  
カウントアップ署名数



毎週火曜日に集約して  
水曜日に署名数を貼り替えます。  
ご協力ください。

5/27署名スタート4周年、署名のカウントアップ掲示の記者発表。長崎被災協の会場にはテレビ4社、新聞7社の取材もあり、今年9月の署名ゴールを前に署名の大きなアピールになったようです。27日に発表した署名数は、481017筆。あと18983筆に迫っています。本来ならば、今年国連で開催のNPT再検討会議へ、市民社会の願いとして、核保有国やその同盟国へ、NPTでの合意や約束を守れと迫る署名となるものでした。新型コロナウイルス影響で会議は中止になり、とても残念でしたが、これまでの運動を発展させて、署名目標の50万筆を急いで達成し、「被爆から75年・核兵器なくせ」被爆地長崎のアピールにしたいと思っています。そのための「ヒバクシャ国際署名」、カウントアップです。この行動を広く知らせるためにアイデア求む。「(ヒバクシャ国際署名)」をすすめる長崎県民の会のFBもご覧ください。

民医連会館の屋上にも



被爆  
75年  
戦後

ヒバクシャ国際署名  
目標50万筆へ数揭示



県内で集めた累計署名数などを掲示した田中共同代表  
＝長崎市、長崎被災協

日、事務局としている長崎市岡町の長崎原爆被災者協議会（長崎被災協）の事務所窓に、集まった署名数の掲示を始めた。毎週水曜日に最新の数字に更新する。被爆75年に合わせ、県民の会は9月までに50万筆の署名を集めることを目指しており、掲示で目標達成や核廃絶への機運を高める狙い。これまでに集まった署名は26日現在で計48万1017筆。ヒバクシャ国際署名は2016年4月、日本原水爆被害者団体協議会（被団協）の呼び掛けで開始。県内では同5月に始まった。県民の会が毎月、街頭で署名への協力を呼び掛けるなどしている。新型コロナウイルスの影響で4、5月は実施できなかったという。署名は、全国の他団体分と合わせて今年10月、国連に提出する計画。ヒバクシャ国際署名のウェブサイトで、オンライン署名も受け付けている。記者会見で、県民の会の田中重光共同代表は「県民の皆さんと一緒に（目標を）達成したい。一日も早く核兵器を廃絶するのが、私たち被爆者の願いだ」と語った。（手島聡志）

